



みやぎ視能訓練士の会  
The Association of Miyagi Orthoptists



11 月号の会報をお送りします。

～内容～

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| ① みやぎ視能訓練士の会 第19回特別講演会 報告    | P2-3 |
| ② 園児の視力検査実技講習会 報告            | P4   |
| ③ <お知らせ> ホームページ ロービジョンコーナー更新 | P5   |



【今後の予定】

☆第59回日本視能矯正学会

日時：平成30年11月10日(土)～11日(日)

場所：パシフィコ横浜 (神奈川県)

☆第135回宮城県眼科懇話会

日時：平成30年11月17日(土) 18:00～19:00

場所：仙台市医師会館 (仙台市若林区)

☆日本視能訓練士協会 2018年度 生涯教育プログラム

＝新人教育プログラム 技術日程 東北ブロック＝

日時：平成30年11月18日(日) <視力検査・屈折検査>

場所：東北文化学園大学 (仙台市青葉区)

＝基礎教育プログラムⅢ 東日本＝

日時：平成30年11月24日(土) <視能矯正>

平成30年11月25日(日) <視能障害>

場所：機械振興会館 (東京都)





## みやぎ視能訓練士の会 第19回特別講演会のご報告

9月30日せんだいメディアテーク7Fスタジオシアターにて特別講演会が開かれ、会員・非会員合わせて79名の方にご参加いただきました。

あいにく、台風24号が接近するところでしたがギリギリ台風の時間帯には避けられたかと思えます。

今回は獨協医科大学埼玉医療センターの杉谷邦子先生と相馬睦先生をお迎えし、「プリズムと部分遮閉法」をテーマにご講演いただきました。

杉谷先生、相馬先生はプリズムと部分遮閉法の第一人者として学会、勉強会で発表されておりまして、多方面でご活躍されております。今回は9方向での複視消失について実証されているS-S method（杉谷-鈴木法）というプリズム療法についてお話いただきました。



杉谷邦子先生

第1部では杉谷先生より複視に対して基礎からのお話があり、眼位、眼球運動検査につきまして麻痺眼と優位眼を確認すること、視能訓練士は両眼解放での治療を第1に考えるためstep1でプリズム複視消失 step2 で不完全遮閉法 をこころみて、もしそれでも複視が残る場合はstep3 spot patch というふうにステップを踏み、周辺視野をできるだけ残し、歩行しやすくする。できるだけ片眼完全遮閉しないという方法を選ぶということについて説明いただきました。



相馬睦先生

第2部では相馬先生よりS-S methodの検査の仕方をより実践的に話してくださいました。水平垂直のプリズム合成し換算するとき方法や0.1遮閉膜を貼る部分を決めるときの患者さんの受け答えなど、動画

を使いとても分かりやすくお話いただきました。

また、滑車神経麻痺、外転神経麻痺など疾患別で遮閉膜の貼る位置などを教えていただきました。それらの部分遮閉膜を貼った眼鏡やメンディングテープ、膜プリズムを切るはさみ、合成換算表、遮閉膜の濃さを決めるサンプルのものなどを展示して見せていただきました。



平成29年に行われた視能矯正学会の内容よりも一歩ふみこんだ内容となっており臨床に活かせる講演だったと思います。

先生方は携わった複視の患者さんに楽になったという言葉聞いてとてもやりがいを感じているという話もされていました。先生方の患者さんに対する熱意が感じられ、私も複視に対して苦手意識を持たずに挑戦してみようという気持ちにさせられた講演でした。

展示されたプリズム眼鏡、遮閉膜の眼鏡



臨床に戻り、遮閉膜のサンプルの貸し出しを業者の方をお願いしたところ問い合わせが殺到しているようでしたのでこの講演の反響が大きかったことが伺えます。

台風でお足元が悪い中、講演してくださった先生方、ご参加頂いた皆様、運営委員会の皆様、関係者の皆様この場をお借りして感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

特別講演会実行委員長 村上美佳

休憩中//展示スペースにて



いろいろな質問が出ました！





## 園児の視力検査実技講習会報告

◎日時：H30年9月27日（木）14：00～16：00

◎場所：宮城県医師会館

◎実技指導視能訓練士

- ・石川奈津美
- ・兼平安希（仙台医療センター）
- ・近藤美来（東北医科薬科大学若林病院）
- ・佐藤陽子
- ・杉山隼人（東北医科薬科大学病院）
- ・高橋美如々（かとう眼科医院）
- ・二本柳淳子（東北文化学園専門学校）
- ・渡邊裕太（平成眼科病院）（50音順）

宮城県眼科医会より763施設の幼稚園、保育所へ案内が送られ、今回の参加施設は31施設36名でした。例年通り医師の講演30分、視能訓練士の講演30分、実技演習1時間が行われました。

小林茂樹先生の講演では斜視・弱視、視覚の感受性期などについてお話ししていただき、参加された方々は子どもの視力発達の重要性をご理解いただけたと思います。



実技演習では視能訓練士が字ひとつ視力表を用いて視力検査のデモンストレーションを行った後、実際に視力検査の相互演習を行いました。既に視力検査を実施している施設もいくつかありますが、実施したことのない施設が大多数でした。参加された方々からは予定終了時刻を過ぎても、検査機器や視力検査に関する疑問などの様々な質問が飛び交い、熱意をひしひしと感しました。

しと感しました。

今後、多くの施設において視力検査が当然のように実施されるまで、視能訓練士として関わっていくことの重要性を非常に感しました。また今回は昨年よりも参加施設が多かったため、実技指導の視能訓練士の数を増員したのですが、それでも人手が足りない状態でした。皆さんが普段行っている字ひとつ視力検査の方法を実演するだけで特に難しいことはありませんので、興味のある方は来年度も開催されますので是非ご参加下さい。

文責 杉山



# お知らせ

ホームページ ロービジョンコーナー 更新しました！！

今回は

- スマートサイトを使って患者様を紹介した後の流れはどうなるの？  
(アイサポート仙台版)

『眼科からアイサポート仙台に紹介した実際の一例』

『アイサポート仙台の特徴』

アイサポート仙台の方々にご協力いただき、患者様を紹介した後について  
聞いております。

ぜひご覧ください！！



＝編集後記＝

グッと寒くなってきました。「暑い暑い」と最近まで半そでで検査を頑張っていた私もカーディガンを着るようになりました。  
皆さん、体調に気をつけて検査、個々の活動、頑張りましょう。

(小)

★☆☆会報に関してのお問い合わせは下記までご連絡下さい☆☆★

〒981-3627 宮城県黒川郡大和町吉岡東 2-8-10

かとう眼科医院 川上綾子・小谷里美

TEL 022-347-1682 FAX 022-347-1683

mail [koho@myg-ort.com](mailto:koho@myg-ort.com)



koho